

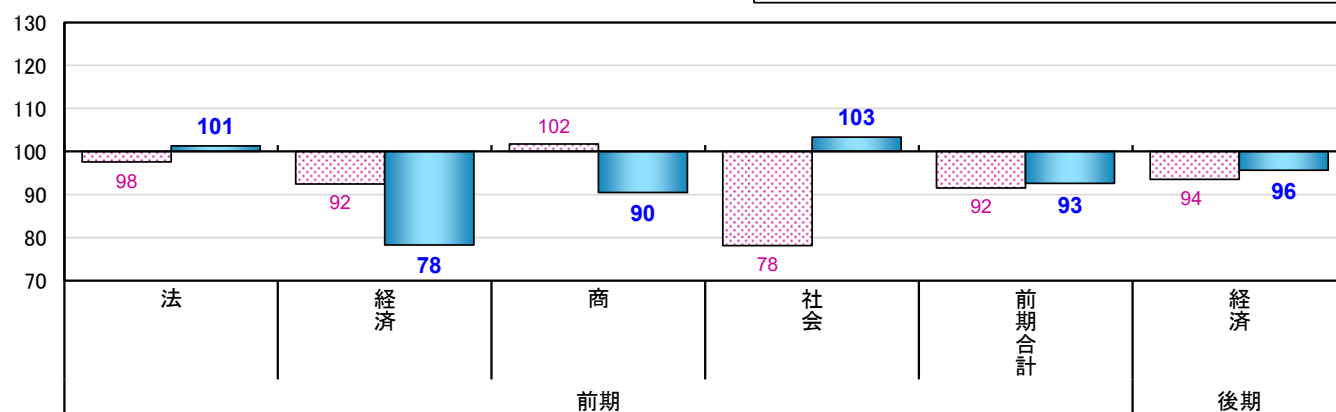
2020 年度入試状況分析【国公立大】

一橋大：文系人気の陰りから前期・後期ともにやや減少

前期：-197人 後期：-48人

※前年度の志願者数を100とする指数

□ 2019年度/2018年度 ■ 2020年度/2019年度



入試変更点 学費改定：535,800円(年額)→642,960円(年額)

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は197人(93)のやや減少で2年連続減少。学部別では、系統への人気に陰りのある経済(78)が大幅減少、商(90)は減少。社会(103)はやや増加。法(101)は微増。経済のみ募集の後期は、48人(96)のやや減少で、2年連続減少となった。前期・後期合計では、(94)のやや減少だが、文系人気の陰りに加えて、私立大との学費差が小さい文系単科大学だけに学費値上げの影響もあったと思われる。

<前期日程>

- 法(101)は、わずか7人の微増だが3年ぶりの増加。
- 経済(78)は、大幅減少で2年連続減少。2013年度以来の500人台の志願者数となった。
- 商(90)は、減少して、2015年度以来の700人台の志願者数となった。
- 社会(103)は、やや増加で、前年度の反動による増減が継続。
- 第1段階選抜は、法と社会で実施され、合格率は法が96.3%、社会が93.7%で、いずれも競争は厳しくなかった。